

学校茶園（外部圃場）及び付帯施設の安全対策と環境整備

静岡県立静岡農業高等学校
教諭 山中浩典・梅原直樹

I はじめに

本校、生産系生産流通科生産ビジネス系列（茶業専攻）では校外茶園（外部圃場）30 a、校内茶園（内部圃場）10 a と茶工場を所有し、栽培、製茶及び販売までの自園自製自販を行っている。

静岡市葵区北沼上にある、校外茶園は昭和 44 年度に柑橘園として開かれ、その後茶園に改植された。約 50 年の歴史を持つ圃場及び施設である。

茶園は山の斜面にあり、生徒の実習時における危険箇所も多い。加えて近年の獣害（特にイノシシ）や台風をはじめとする水害のため危険箇所が増加している。教室、作業用倉庫等の付帯施設の老朽化も激しく学習環境も悪化している。

そこで本年度は安全対策や環境整備の必要な場所の調査を行い、実際に安全対策と環境整備に取り組むことにした。

II 取組内容

1 調査方法

(1) 茶業専攻生徒 38 名への聞き取り調査

2 調査内容

- (1) 実習中に危険と感じたことはありますか。
- (2) それは茶園のどこですか。
- (3) 校外茶園教室で、授業を受けるとしたらどこを整備する必要がありますか。
- (4) その他に整備する必要がある場所がありますか。

3 調査結果

- (1) 38 名、全員があると答えた。
- (2) 多くの生徒が斜面を登るための階段が壊れていること、斜面の法面が滑りやすいことをあげた。
- (3) 第一に教室内の雰囲気をもっと明るく清潔に欲しい。具体的には壁のひび割れを補修して明るい色にしたい。教室内の不要物の撤去、カーテンの補修、天井の補修等の要望があがった。
- (4) トイレを清潔で使いやすくして欲しいとの要望が多かった。

4 活動の内容

調査結果を参考に生徒が自分たちの手で出来る、以下の安全対策と環境整備に取り組んだ。

(1) 校外茶園の階段、法面の安全対策と環境整備

- ①階段の補修
- ②法面の補修

(2) 教室の環境整備

- ①教室内の扶養物の撤去
- ②カーテン、カーテンレールの補修
- ③壁のひび割れ補修
- ④壁のペンキ塗り

⑤トイレドアの補修とペンキ塗り

5 活動の成果

(1) 校外茶園の階段、法面の安全対策と環境整備

階段、法面の整備について図1、図2に示した。茶園はあまりにも広く、予想以上に資材や土が必要で作業にも時間を要した。そのため補修が出来たのは茶園のほんの一部であった。



図1. 階段の補修 (左: 補修前 右: 補修後)



図2. 法面の補修

(2) 教室の環境整備

壁のひび割れの補修とペンキ塗りの成果を図3、図4に示した。作業にはかなりの時間を要したが、教室が格段に明るくなった。その他に教室内の不要物の撤去、カーテン、カーテンレールの補修も行った。結果かなり教室の環境整備を進めることが出来たが天井の補修までは出来なかった。



図3. 補修前の教室の壁



図4. 補修後の教室の壁



図5. ひび割れの補修

III 考察及び課題

教室の環境整備については、壁のペンキの色ひとつでかなり教室の環境が変わり、来年度以降も取り組みれば整備が完了できる目途もついた。その後は茶園が見渡せる教室で授業を展開できることが期待できる。

茶園の安全対策と環境整備については、とても生徒の手では出来ないことも分かった。重要なことであるので専門家に任せ早急な対応が必要であると感じた。

茶園及び教室の補修・整備等を、実際に生徒自らの手で行ったことで生徒たちは「やれば自分で出来るんだ。」と実感出来たと思う。また、活動に楽しく取り組んでいる様子も随所で見られた。今回の経験したことが、生徒たちが将来より良い生活を送るための一助となれば幸いである。